



平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月29日

上場会社名 株式会社ネクシィーズ 上場取引所 東・大
 コード番号 4346 URL <http://www.nexyz.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 太香巳
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)松井 康弘 TEL (03)5459-7444
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	6,011	24.9	153	-	143	-	31	-
21年9月期第3四半期	4,814	-	△163	-	△190	-	△533	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第3四半期	24 70	-
21年9月期第3四半期	△429 96	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第3四半期	7,230	4,483	27.7	1,581 73
21年9月期	7,906	4,591	25.8	1,616 80

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 2,005百万円 21年9月期 2,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	-	60 00	-	65 00	125 00
22年9月期	-	0 00	-		
22年9月期(予想)				125 00	125 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	8,000	16.8	180	-	160	-	0	-	0 00	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.7 「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	1,341,364株	21年9月期	1,341,364株
22年9月期3Q	73,610株	21年9月期	81,035株
22年9月期3Q	1,265,884株	21年9月期3Q	1,239,899株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なっている可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）6ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2. その他の情報	7
(1) 重要な子会社の異動の概要	7
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	7
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書	10
【第3四半期連結累計期間】	10
【第3四半期連結会計期間】	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	14
(5) セグメント情報	14
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	16

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新興国向けの需要が拡大し、輸出・生産の増加など、企業の景況感は改善傾向にありました。しかしながら、ギリシャの財政危機に端を発する欧州の経済不安の増大が世界の金融市場に大きな影響を及ぼし、更には実態経済にも波及しかねないという二番底に陥る懸念も生じさせました。GDPの伸び率は、平成22年1月～3月に1.2%増となり、消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、前年同月比△1.2%～△2.2%の間で推移し、前年同月比マイナスの状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは事業の種類別セグメントの持つ特性を最大限に活かし、それぞれを成長・発展させていくと同時に、グループ経営による更なる企業価値の向上に努めております。

当社グループの事業の種類別セグメントは、ブロードバンド事業、ソリューションサービス事業、文化教育事業の3つに区分しております。

ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」（以下、「Nexyz.BB」）の提供および加入希望者の獲得を行っております。

ソリューションサービス事業では、旅行ウェブマガジン「旅色」（以下、「旅色」）の提供のほか、金融商品仲介、保険代理店業務、業務用食品卸業支援等の企業の販売促進支援に関わる業務を行っております。

文化教育事業では、ハクビ総合学院による、きもの着付け教室等の運営や、呉服・和装小物等の販売が主な業務であります。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き「Nexyz.BB」の加入希望者の獲得に注力しており、会員数が堅調に増加し、会員から得られるISP利用料も増加致しました。また、「旅色」の広告クライアントである宿泊施設や飲食店等との新規契約数が四半期ごとに増加傾向にあり、既存契約の更新も加わったことで広告掲載料による収入が増加いたしました。その他の各業務についても堅調に推移いたしました。ハクビ総合学院においては、教室生徒からの月謝収入等が安定して得られ、呉服等の販売会でも売上が好調でありましたが、7月開催予定の「ゆかたクイーンコンテスト」に向けた広告宣伝費が発生したため費用が先行しております。

一方で、当社グループ全体としては、継続的に費用の削減に取り組み、営業に係る電話通信費や賃借料の費用圧縮に加え、広告宣伝費や採用費などの支出を見直したことにより、従来よりも販売費及び一般管理費を抑えた事業運営を行うことができました。

これらの結果、売上高6,011百万円（前年同四半期比24.9%増）、営業利益153百万円（前年同四半期営業損失163百万円）、経常利益143百万円（前年同四半期経常損失190百万円）となり、四半期純利益は31百万円（前年同四半期純損失533百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間における事業の種類別セグメント情報の概況は次のとおりです。

[ブロードバンド事業]

ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供を行っております。

同事業では、引き続きお客様のインターネット利用環境やご要望に合わせた説明型テレマーケティングによる提案営業を展開してまいりました。インターネット接続サービス「Nexyz.BB」では、快適なインターネット環境をより安価な価格帯で提供しております。節約志向の強い他社インターネット利用者の乗り換えやインターネット未経験者の加入により会員数が増加し、会員から得られるISP利用料も増加しております。その他、「Nexyz.BB」会員限定にご案内している、飲食店や宿泊施設等の割引サービス「Benefit Station」の利用者数も堅調に増加しております。また、経費削減に取り組んできたことで電話通信費や賃借料の営業費用が圧縮できました。

これらの結果、ブロードバンド事業は、売上高2,393百万円（前年同四半期比1.6%減）、営業利益60百万円（前年同四半期営業損失83百万円）となりました。

[ソリューションサービス事業]

ソリューションサービス事業では、様々な製品・サービスの販売促進支援を行っております。

同事業の旅行ウェブマガジン「旅色」では著名なタレントを起用し、日本各地の観光情報等を雑誌形式で紹介しております。「旅色」ではより一層の内容充実を図るため、定期的に発刊するエリア別の観光情報のほかに、「坂本龍馬ゆかりの地に行く」、「旭山動物園・旭川特集」、「ホテルセレクション」などの特別企画を立ち上げました。その他、4月には新しい試みとして、女性向けファッション雑誌「GINGER」に紙媒体の別冊付録「旅色」を掲載いたしました。これらの取り組みにより宿泊施設や飲食店等のクライアント数が増加し、広告掲載料の収入も堅調に増加しております。

その他、金融商品仲介、保険代理店業務、業務用食品卸業支援、についてもそれぞれ堅調に推移いたしました。なお、情報通信サービスのキャリアから継続して得られる手数料収入については、引き続き利用者の解約に伴う自然減がありました。

これらの結果、ソリューションサービス事業は、売上高1,906百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益385百万円（前年同四半期比36.3%増）となりました。

[文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付け、くみひも、ちぎり絵等の教室運営、呉服や和装小物等の販売を行っております。この事業は平成21年4月に株式会社ハクビを子会社化したことにより新たに参入した事業であります。

同事業では、教室運営による月謝等の安定した収入に加え、呉服販売会での売上が堅調でありました。また、きもの着付けやちぎり絵等、日本の伝統文化をより親しみやすいものとして感じていただくための各種催し物を企画し運営してまいりました。毎年恒例となっている日本最大級の着物イベント「きものクイーンコンテスト」や、きもの着付け資格取得者の発表の場である「きものフューチャー2010」を開催したほか、今年24回目となる「和紙ちぎり絵創作展」を上野の森美術館で開催致しました。なお、7月開催予定の「ゆかたクイーンコンテスト」に向けた広告宣伝費が先行費用として発生しております。

これらの結果、文化教育事業は、売上高1,860百万円、営業損失4百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は7,230百万円となり、前連結会計年度末に比べて676百万円の減少となりました。

流動資産は4,401百万円となり、前連結会計年度末に比べて606百万円の減少となりました。これは主に短期借入金の返済や社債の償還、配当金の支払い、少数株主への配当、固定資産の取得等により現金及び預金が795百万円減少した一方で、売上高の増加により売掛金が98百万円増加したことや、前払費用が42百万円、未収入金が31百万円、未収法人税等が15百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は2,828百万円となり、前連結会計年度末に比べて69百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券が51百万円増加した一方で、減価償却等により有形固定資産が78百万円減少したことや、事務所の賃貸借契約の見直しに伴い敷金及び保証金が46百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は2,662百万円となり、前連結会計年度末に比べて515百万円の減少となりました。これは主に短期借入金が189百万円、1年内償還予定の社債が200百万円、未払金156百万円、未払費用が35百万円それぞれ減少した一方で、買掛金が29百万円、「Nexyz. BB」の会員数増加に伴い解約調整引当金が25百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は84百万円となり、前連結会計年度末に比べて53百万円の減少となりました。これは主に社債40百万円を1年内償還予定の社債に組み替えたことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は4,483百万円となり、前連結会計年度末比107百万円の減少となりました。その主な内訳は以下のとおりであります。

まず、四半期純利益31百万円を計上した一方で、期末の配当を行ったこと、中間法人ネクシィーズ従業員持株事業体が保有する当社株式をネクシィーズ従業員持株会に譲渡した際に、自己株式処分差額が発生したこと等により、利益剰余金が108百万円減少いたしました。一方、この譲渡により自己株式が76百万円減少いたしました。

そして、連結子会社で配当があったこと等に伴い少数株主持分が75百万円減少いたしました。

以上により流動比率は165.3%となり前連結会計年度末比7.7ポイント上昇いたしました。株主資本比率は、27.7%となり前連結会計年度末比1.9ポイント上昇いたしました。時価ベースの株主資本比率は50.3%となり前連結会計年度末比4.5ポイント低下いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は2,588百万円となり、前連結会計年度末残高3,138百万円と比較して、549百万円の減少となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は47百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額110百万円、未払金等の減少に伴いその他の減少額214百万円を計上した一方で、税金等調整前四半期純利益124百万円、仕入債務の増加額29百万円、非現金支出項目として減価償却費190百万円、解約調整引当金の増加額25百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は12百万円となりました。これは主に、子会社の自己株式の取得による支出50百万円、投資有価証券の取得による支出72百万円、有形固定資産の取得による支出63百万円、無形固定資産の取得による支出60百万円等があった一方で、定期預金の払戻による収入245百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は584百万円となりました。これは主に、借入金の返済に伴う短期借入金純減少額189百万円、社債の償還による支出240百万円、配当金の支払額81百万円、少数株主への配当金の支払額88百万円が発生したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績が好調であったことから改めて修正いたしました。これは主に、ブロードバンド事業のインターネット接続サービス「Nexyz.BB」及び、ソリューションサービス事業の旅行ウェブマガジン「旅色」が好調であったことによるものであります。

今後の各事業の取り組み、通期業績予想については、以下のとおりであります。

[ブロードバンド事業]

ブロードバンド事業では、引き続き説明型テレマーケティングを中心としたインターネット接続サービス「Nexyz.BB」の加入希望者の獲得に注力してまいります。また、株式会社ベネフィット・ワンとの提携により、付加サービスとして会員向けの飲食店や宿泊施設等の割引サービス「Benefit Station」を提供開始しており、同サービスの提供にも注力することで、収益力の強化に努めてまいります。

[ソリューションサービス事業]

ソリューションサービス事業では、旅行ウェブマガジン「旅色」において雑誌やテレビとのタイアップに加えて、スマートフォンへの対応による認知度および媒体価値の向上や、人気の高い観光地や話題のスポットを紹介する特別企画による内容の充実と広告掲載枠の増大を図ってまいります。その他の金融商品仲介、業務用食品卸業支援、保険代理店業務等についても、安定、拡大に努めてまいります。

[文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付け教室の運営による安定した収入と、季節や時期に応じたイベントや展示会による臨時的な収入が見込まれます。イベントや展示会等の催事は主に7月～9月に開催いたします。なお、平成21年4月に株式会社ハクビを子会社化したため、同社の業績が前連結会計年度は4月からの半期分だけが反映されておりましたが、当連結会計年度は通期で反映されることとなります。

通期の連結業績予想につきましては、これらの各事業の取り組みから、売上高8,000百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益180百万円（前年同期営業損失157百万円）、経常利益160百万円（前年同期経常損失199百万円）、当期純利益0百万円（前年同期純損失823百万円）を予想しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,588,102	3,384,055
受取手形及び売掛金	983,452	884,834
商品	109,708	122,054
未収入金	554,157	522,579
その他	202,814	122,223
貸倒引当金	△36,941	△27,809
流動資産合計	4,401,294	5,007,937
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	339,508	361,684
その他(純額)	213,548	270,019
有形固定資産合計	553,057	631,703
無形固定資産		
のれん	212,256	211,316
その他	160,257	158,754
無形固定資産合計	372,513	370,070
投資その他の資産		
投資有価証券	994,727	943,586
敷金及び保証金	535,657	582,623
繰延税金資産	114,584	120,558
その他	341,036	332,545
貸倒引当金	△82,870	△82,520
投資その他の資産合計	1,903,136	1,896,793
固定資産合計	2,828,708	2,898,567
資産合計	7,230,002	7,906,505
負債の部		
流動負債		
買掛金	334,723	304,937
短期借入金	1,000,000	1,189,068
1年内償還予定の社債	40,000	240,000
未払金	574,943	731,670
未払法人税等	61,860	72,893
解約調整引当金	329,572	303,870
その他	320,942	335,026
流動負債合計	2,662,041	3,177,467
固定負債		
社債	—	40,000
その他	84,505	97,700
固定負債合計	84,505	137,700
負債合計	2,746,547	3,315,167

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,653,660	4,653,660
資本剰余金	4,439,468	4,439,468
利益剰余金	△6,730,685	△6,622,457
自己株式	△339,926	△416,489
株主資本合計	2,022,517	2,054,182
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17,277	△16,487
評価・換算差額等合計	△17,277	△16,487
少数株主持分	2,478,214	2,553,643
純資産合計	4,483,455	4,591,338
負債純資産合計	7,230,002	7,906,505

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	4,814,871	6,011,745
売上原価	2,697,672	3,517,314
売上総利益	2,117,198	2,494,430
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	507,483	637,758
賃借料	536,712	442,063
減価償却費	158,287	121,584
その他	1,077,832	1,139,372
販売費及び一般管理費合計	2,280,314	2,340,778
営業利益又は営業損失(△)	△163,116	153,652
営業外収益		
受取利息	3,796	905
消費税等差額	—	6,152
その他	11,872	10,059
営業外収益合計	15,668	17,117
営業外費用		
支払利息	15,098	3,449
投資事業組合運用損	25,379	18,331
その他	2,081	5,650
営業外費用合計	42,559	27,431
経常利益又は経常損失(△)	△190,006	143,337
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
固定資産除却損	118,484	9,451
事業整理損	—	5,441
事業所移転費用	—	4,145
減損損失	238,376	—
その他	39,461	—
特別損失合計	396,322	19,039
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△586,329	124,298
法人税、住民税及び事業税	40,732	62,340
法人税等調整額	△48,889	△14,588
法人税等合計	△8,157	47,751
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△45,064	45,273
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△533,107	31,273

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,974,325	2,023,218
売上原価	1,155,823	1,178,415
売上総利益	818,501	844,802
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	205,408	212,719
賃借料	192,657	145,290
減価償却費	54,578	40,869
その他	451,801	373,194
販売費及び一般管理費合計	904,445	772,073
営業利益又は営業損失(△)	△85,943	72,729
営業外収益		
受取利息	505	7
受取配当金	2,235	—
抛出金精算	—	2,641
仕入割引	1,684	—
その他	2,392	600
営業外収益合計	6,817	3,248
営業外費用		
支払利息	3,984	703
貸倒引当金繰入額	—	350
その他	345	123
営業外費用合計	4,329	1,177
経常利益又は経常損失(△)	△83,455	74,801
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
固定資産除却損	24,324	—
投資有価証券評価損	6,325	—
事業整理損	21,740	—
特別損失合計	52,390	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△135,846	74,801
法人税、住民税及び事業税	17,639	18,841
法人税等調整額	△12,733	2,481
法人税等合計	4,905	21,322
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,830	18,615
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△136,922	34,863

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△586,329	124,298
減価償却費	211,965	190,704
減損損失	238,376	—
のれん償却額	21,822	17,098
解約調整引当金の増減額(△は減少)	△52,786	25,701
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,105	9,481
受取利息及び受取配当金	△6,031	△905
支払利息	15,098	3,449
投資事業組合運用損益(△は益)	25,379	18,331
投資有価証券評価損益(△は益)	17,720	—
固定資産除却損	118,484	9,451
事業整理損失	21,740	5,441
事業所移転費用	—	4,145
売上債権の増減額(△は増加)	16	△84,234
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,745	10,287
仕入債務の増減額(△は減少)	28,793	29,785
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36,239	12,853
その他	△73,960	△214,255
小計	△53,589	161,635
利息及び配当金の受取額	6,984	1,488
利息の支払額	△16,164	△4,936
法人税等の支払額	△90,521	△110,392
営業活動によるキャッシュ・フロー	△153,290	47,795
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	378,020	245,967
定期預金の預入による支出	△245,967	—
子会社株式の取得による支出	△164,886	—
子会社の自己株式の取得による支出	—	△50,000
投資有価証券の取得による支出	△57,480	△72,903
出資金の分配による収入	13,058	2,640
有形固定資産の取得による支出	△41,761	△63,600
無形固定資産の取得による支出	△18,656	△60,817
長期前払費用の取得による支出	△5,989	△5,989
その他	△12,830	△8,271
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156,492	△12,975

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,500,000	△189,068
社債の償還による支出	△740,000	△240,000
リース債務の返済による支出	△509	△764
配当金の支払額	△225,860	△81,389
少数株主への配当金の支払額	—	△88,740
自己株式の処分による収入	59,710	15,156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,406,659	△584,805
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,716,441	△549,985
現金及び現金同等物の期首残高	5,087,967	3,138,088
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,371,525	2,588,102

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	ブロード バンド 事業 (千円)	ソリューショ ンサービス 事業 (千円)	文化教育 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	794,287	577,115	602,921	1,974,325	—	1,974,325
(2) セグメント間の 内部売上高	2,260	23,772	—	26,032	(26,032)	—
計	796,547	600,888	602,921	2,000,357	(26,032)	1,974,325
営業費用	863,819	504,359	609,326	1,977,505	82,763	2,060,269
営業利益又は 営業損失(△)	△67,271	96,529	△6,404	22,852	(108,796)	△85,943

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)

	ブロード バンド 事業 (千円)	ソリューショ ンサービス 事業 (千円)	文化教育 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,425,202	1,786,747	602,921	4,814,871	—	4,814,871
(2) セグメント間の 内部売上高	6,751	68,855	—	75,606	(75,606)	—
計	2,431,953	1,855,602	602,921	4,890,478	(75,606)	4,814,871
営業費用	2,515,793	1,572,755	609,326	4,697,875	280,111	4,977,987
営業利益又は 営業損失(△)	△83,840	282,847	△6,404	192,602	(355,718)	△163,116

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

	ブロード バンド 事業 (千円)	ソリューショ ンサービス 事業 (千円)	文化教育 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	803,945	633,117	586,154	2,023,218	—	2,023,218
(2) セグメント間の 内部売上高	16,985	30,356	50	47,392	(47,392)	—
計	820,931	663,474	586,204	2,070,610	(47,392)	2,023,218
営業費用	806,527	520,827	589,082	1,916,437	34,051	1,950,489
営業利益又は 営業損失(△)	14,404	142,646	△2,878	154,172	(81,443)	72,729

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)

	ブロード バンド 事業 (千円)	ソリューショ ンサービス 事業 (千円)	文化教育 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,340,341	1,811,134	1,860,269	6,011,745	—	6,011,745
(2) セグメント間の 内部売上高	52,835	95,698	50	148,583	(148,583)	—
計	2,393,176	1,906,833	1,860,319	6,160,329	(148,583)	6,011,745
営業費用	2,332,805	1,521,319	1,864,554	5,718,679	139,414	5,858,093
営業利益又は 営業損失(△)	60,370	385,513	△4,234	441,649	(287,997)	153,652

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な内容

事業セグメント名	主な事業の内容	主要な事業会社
ブロードバンド事業	インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供、加入希望者の獲得、附帯するサービスの提供	(株)Nexyz.BB (株)ネクシィーズ・コミュニケーションズ
ソリューションサービス事業	製品・サービスの販売促進、ノウハウや技術の提供、コンサルティング業務	(株)ネクシィーズ アイデアキューブ(株) (株)ネクシィーズ・トレード (株)ソニア・パートナーズ (株)ユーシーシー・ネクシィーズ (株)プランジスタ (株)Nexyz.VP
文化教育事業	きもの着付け、くみひも、ちぎり絵等の教室運営、呉服や和装小物等の販売	(株)ハクビ (株)美楽衣

3. 前第3四半期連結累計期間における文化教育事業の各項目は、株式会社ハクビを平成21年4月10日に子会社化したことにより、前第3四半期連結会計期間からの実績を記載しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

当社グループは本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

当社グループは本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

当社グループは海外売上高がないため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

当社グループは海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。